



画業60年のあゆみ——色彩と空間——

岡田菊恵 《貝とあそぶ》2000年 100号F

岡田菊恵

2010年8月17日(火) — 10月3日(日)

休館日：8月23日(月)、30日(月)、9月6日(月)、13日(月)、21日(火)、24日(金)、27日(月)
 入館料：一般 300(240)円 / 小中学生 100(80)円 * ()内は10名以上の団体料金
 * 60才以上の方、障害者の方(付添1名含む)は入館無料 * 毎週土曜日は小中学生の入館無料
 * 10月1日(金)は「平和・国際都市 渋谷の日」のため入館無料

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
 * 毎週金曜日は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)

渋谷区立松濤美術館



《自画像》1951年 10号F 東京藝術大学蔵



《葡萄畑の小径》2010年 50号S



《赤ん坊・うず》1973年 10号F

岡田菊恵（1929年東京都・目白生まれ）は、敗戦後に初めて男女共学となった東京美術学校（現・東京藝術大学）に、最初に入學した女子学生のひとりでした。安井曾太郎教室に学び、1951年に卒業すると、日本アンデパンダン展やタケミヤ画廊のグループ展（赤土会グループ展 1955、1956年）に出品するようになりました。以来、反骨精神を貫いて独自の造形を切り開くこと約60年、鮮やかな色彩の魅力とともにその絵画はますます円熟味を増えています。また、女流画家協会展（1964年から会員）や立軌会（1983年から同人）の主要メンバーとしての活躍も、特記すべきでしょう。

本展では、東京藝術大学卒業制作に始まる初期から最新作まで、岡田菊恵の画業を代表作で回顧し、戦後を歩きとおしたひとりの女性画家の軌跡を紹介いたします。



《セザンヌの庭》2006年 50号F



《枯れ花の静物》2005年 30号F



《闘牛》1988年 21.0x23.8cm

特別対談

9月4日(土) 午後2時より「今、絵を描くということ」
講師：岡田菊恵(画家)×宝木範義(明星大学教授)

担当学芸員によるギャラリートーク

8月17日(火)、9月11日(土)、9月15日(水)
*いずれも午後2時より



- 美術映画会：9月18日(土) 午後2～3時「オルセー美術館 セザンヌ」/10月2日(土) 午後2～3時「世界の旅シリーズ モネ」
- 美術相談：8月21日(土) 午後2～4時 講師：舟橋淳司 / 10月3日(日) 午後2～4時 講師：北尾和子
- 次回展のお知らせ：大正イマジリーの世界 デザインとイラストレーションのモダニズム 2010年11月30日(火)～2011年1月23日(日)

渋谷区立松濤美術館

東京都渋谷区松濤2-14-14 〒150-0046 TEL.03-3465-9421
http://www.city.shibuya.tokyo.jp/ FAX.03-3460-6366
アクセス：JR渋谷駅下車徒歩15分/京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分